

あっというまに秋が駆け抜けていきました。もう、12月。

矢田南幼稚園の子どもたちは、友達と一緒にたくさんの秋の自然と触れ合いながら、秋を満喫してすごしました。



裏庭にたくさんのプラタナスの葉っぱが落ちました。すみれ組がともだち広場（地域の幼稚園・保育園・こども園の交流）に行っている間、真っ先に見つけたたんぼぼ組が、落ち葉をたくさん集めて、落ち葉のお風呂にしたり、落ち葉の中に入ったり、落ち葉のシャワーをしたり・・・すると大きい子がしている楽しそうなことにととても敏感なりす組が見つけてやってきて、みんなで大盛り上がり。たんぼぼ組は、ダンボールでお風呂を作り、落ち葉を入れて落ち葉のお風呂を作りました。今は、それを、わらのお家の中に入れ、キッチンなども作って素敵なわらのお家になっています。

次の日、たくさんの落ち葉を見つけたすみれ組は、お山にブルーシートを敷いて滑り台を作り始めました。ブルーシートを敷いてできあがるとお山の上からコロコロコロ～っと転がり、ふもとに山のように積んだ落ち葉の中にダイブ！ おもしろい！ ひとしきりするとブルーシートの上にも落ち葉を敷き詰めだしました。落ち葉の上を転がっていきます。なんて楽しいことを考えたんでしょう。それは、次の日も続きました。今度は築山にブルーシートを敷いてたくさんの落ち葉を集めて敷き詰め、勢いよくコロコロ・・・全園児でコロコロ楽しみました。



もはや葉っぱか子どもか分からない状態に！



次々と転がる子どもたち。

たくさんの落ち葉は、子どもたちの心も体も開放し、揺さぶってくれました。

思う存分秋を楽しむことができる矢田南幼稚園で、心も体も動かし、健やかに育っている子どもたちです。



落ち葉のお布団。



ダンボールで作ったお風呂に落ち葉をたくさん入れて・・・
「あったかい!」「疲れがとれる〜」



落ち葉の中にダイブ!!



おにぎりの会というのは、子どもたちが言い出した言葉です。

わらのお家にAさんを招待したとき、「一緒におにぎりをして食べよう」という話が出て、Aさんも子どもたちも楽しみにしていました。おにぎりの会のためにAさんは、子どもたちが田植え、稲刈りをさせてもらったあと、脱穀・精米したお米と3升炊きの大きなガス釜と升を持って来てくださいました。ところが、Aさんは急用ができて来られなくなりました。ガス釜にお米をいれたのを子どもたちに見せていると「あれ?Aさんは?」と一人の男の子が言い出しました。みんなも「あれ?」「どうしたん?」。理由を話すととても残念がっていた子どもたちでした。

「これが、洗ったお米だよ。お米洗うのお手伝いしたことある?」と聞くとたくさんの子供が「ある!」と手をあげてくれ、ちゃんとお家でお手伝いをしていることを嬉しく思いました。

お米が炊き上がると、元気広場で子どもたちに見せました。蓋をあげ湯気が一気にたちのぼると「いいにおい〜」「すご〜い」とにおいや炊き上がったご飯の量の多さに感動している子どもたちでした。3升の炊き上がりなんて見たことないですから。

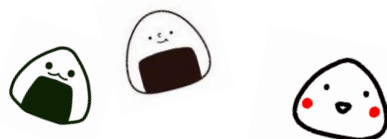
この日は、大変良いお天気。お外で食べたらどんなに美味しいでしょう。美味しい新米がさらに美味しいのでは?と職員みんな話合っ、中庭



周辺でおにぎりの会をすることにしました。

全員ちゃんとにぎれるかな？と少し心配もしていましたが大丈夫、みんなとても上手ににぎっていました。「あついなあ」と格闘気味の子もいましたが、友達が「大丈夫やで」と声をかけてくれると「大丈夫になってきた」と嬉しそうににぎり、ほかほかおにぎりを感じていました。

お外で食べて食欲も倍増。「おいしい〜♡」「おいしいなあ」「甘くておいしい」「おかわり！」「おかわり！」と元気な声がいっぱいで、たくさんたくさん食べました。何も味付けしないお米本来の甘味などを味わいました。



帰りの放送で、おにぎりの会を楽しみにし、お米もガス釜も用意してくれたのに今日来ることができなかった A さんの話をしました。すると、すみれ組の子どもたちが、「A さんに手紙を書きたい」と言い出しました。「一人一人のおにぎりを食べている写真付きのメッセージにしたい」と言うのです。年長になるとこんな風に考えられるのですね。

地域の方の温かさに包まれて、その温かさを子どもたちは心で感じて、矢田南幼稚園の子どもは幸せだな、と思いました。



デジタルカメラ・デジタル顕微鏡 大活躍！ ～深まる好奇心・探究心～

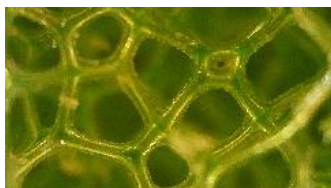
年中・年長児は、どこに行くにも持って出かけるようになったデジタルカメラ。園内でも「撮りたい」と思った時にすぐに撮れるようにかごに入れて置いています。自然がいっぱいの秋をたくさんカメラに収め、保育室は、子どもたちの大発見した写真でいっぱいになっていました。デジタル顕微鏡も使い方にすっかり慣れ、ピントを合わせて「おおー、見えた！」

とおもしろさを感じています。デジタル顕微鏡は、クラスに1台あり、年少児も楽しんでいきます。また、画像を撮ることもできるため、子どもたちは、写真モード・ビデオモードと切り替え、シャッターボタンを押し、画像を写真に収め、写真はお部屋に貼ったり、年長は標本にしたりしています。



クイズ 何の写真でしょう?デジタル顕微鏡で撮ったよ。
答えは最後に載っています。

①



③



②



④



昆虫館で標本を見たすみれ組は、小学校に行ったとき、理科室の前で標本を見つけました。校長先生に「これください」と言うと「あげられへんけど貸してあげるよ」と言っていただきました。標本というものにふれた子どもたちは、クラスで先生と一緒に自分たちの標本を作り出しました。そして、そこにはデジタル顕微鏡で撮った写真も添えられています。





小学校との関わり

9月に5年生の運動会の演技を年中・年長児で見せてもらい、10月に1年生と運動会の演技の見合いっこを全園児でし、11月には年長児が5年生との絵本の読み聞かせを通しての交流会を行いました。5年生は、来年すみれ組が1年生になったら6年生でいてくれる学年です。

1年生になって急に環境が変わり、初めて尽くしになるのではなく、知っている、関わったことのある6年生が迎えてくれること、小学校の雰囲気慣れ、緊張を緩やかにすることなど、なめらかな幼小接続をとの思いから小学校の先生と相談をして行っています。小学校が「小学生もとても喜んでいますが、是非、できる形を一緒に考えながら続けましょう」と受け入れてくださっていることに感謝です。



他の学年にとっても、小学生とのふれあいや小学校の雰囲気を感じることは、とてもよいことだと思い、小学校に行く機会をもっています。11月11日には、小学校の絵本ボランティアのてんとうむしさんが開いてくださっている絵本ひろばにも全園児がクラスごとで順番に参加させていただきました。また、11月25日には、小学校の運動場で1時間目、全園児でやってみようタイムを行いました。まずは、校庭をランニング。一周するのも時間がかかることに「広いなあ」と広さを感じていました。その後、縄跳びやパカポコ、おいかっこ、鉄棒（大きな鉄棒にびっくり、鉄棒の数の多さにもびっくり）シーソーなどたっぷり楽しんだ子どもたち。芝生の露で靴と靴下はびちょびちょに濡れてしまいましたが、とっても楽しい時間を過ごしました。1時間目の終わりのチャイムが鳴り「1時間目終わり！さあ、帰ろう」と幼稚園に帰りました。

小学校に行って楽しかった！という経験をこれからも続けていきたいと思っています。





ともだち広場～3園での交流～



11月14日、矢田総合公園の奥の広場でともだち広場を行いました。ともだち広場というのは、矢田地区の園が仲良く遊び交流をしましょう、との願いから始まった交流活動です。矢田南幼稚園、新町保育園、矢田認定こども園の3園で行っています。集まるために長い距離を歩くこと、来年1年生になる子たちということで年長児だけで行っています。



みんなでドラえもののラジオ体操



鬼ごっこの鬼を決めるよ!



長縄跳びに挑戦!互に見合いっこ、応援!

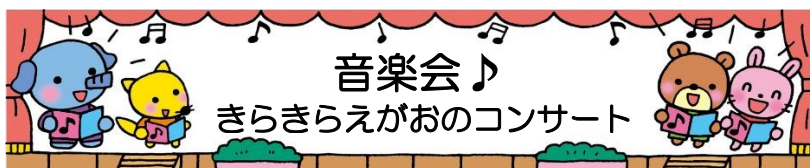


腕相撲対決!!

矢田南幼稚園は少人数。いつもと違い、たくさんの子もたちの中に入るとどんな姿になるかしら？ものおじしないかしら？と少し心配していましたが、そんな心配は全く無用でした。



「お～い！みんな集まれ！鬼決めるぞ～」 「ややこしくなってきたな、よし、鬼は帽子の色、白にしよう！」 「おーい、鬼は帽子白な」と大きな声を出して遊びを引っ張っているすみれ組がいます。それにみんな生き生き伸び伸びしています。すごい！！これは感動でした。少人数でもここ矢田南幼稚園で、心を安定させ、先生や友達に受け止められ、いい人間関係を築いていれば、どこに行っても自分らしさを発揮できるんだ！と心から感じる事ができた一日でした。矢田南幼稚園は、人間関係の基礎をしっかりと育むことができているな、と嬉しく思いました。



11月30日（水）矢田南幼稚園の音楽会～きらきらえがおのコンサート～を行いました。2学期は子どもたちがぐんと伸びる時期です。運動会もそうでしたが、友達と一緒に自分たちの力を出し合いながらやり遂げる行事をとおして、子どもたちは、またいちだんと大きくなります。音楽会もその一つとなり、子どもたちの自信につながりました。

年少は、運動会で年長がしていたマーチングの太鼓に興味をもち、年長がマーチングをしている横で、木の枝をバチに見立てて一緒に太鼓をたたく真似をして遊んでいました。その後、年中が箱や缶などで、手作りの太鼓を作ったのを見て、年少もいろいろな素材で太鼓やバチを作りました。音楽会では、その手作り太鼓の演奏を披露！素敵に演奏できました。



年中も、年長のマーチングのリズムを覚えて、『おさんぽマーチ』の曲に合わせて楽器を演奏しながら入場。『このゆびとまれ』の歌では、一人ずつ自分の好きな虫を歌に合わせて、ペープサートとともに「びよーんぴよーんかえるが♪♪♪とまっちゃった！」ととまらせていきました。一人でしっかりと歌を歌うことができました。最後には、みんなの虫が集まりました。



年長は、呼びかけの言葉も自分たちで考えました。「虫と遊んで楽しかった」という場面では、『おしたち あそぼう』という歌を歌いました。今まで子どもたちが育てた虫や見つけた虫について歌った歌です。『はたらくくるま』の曲に合わせて、虫の特徴を子どもたちが考えて歌詞を考えました。歌いながら虫になる場面もあってとても楽しい歌となりました。たくさんの虫が出てくるので、とても長い歌になりましたが、しっかりと覚えて自信たっぷりに歌うことができました。自分たちで経験したことを歌にしたことで、お客さんに聞いてもらいたいという気持ちも一段と膨らんだようでした。

